

平成23年11月28日(月)

きゅりあん1F小ホール「JR大井町駅前」19時開演

上映「加賀象嵌かがぞうがん 中川衛 美の世界 —新たな伝統を創る—」

講演「加賀象嵌を次世代へつなぐ —彫金・象嵌技法について—」

中川衛氏(人間国宝 | 重要無形文化財「彫金」保持者)



MAMORU NAKAGAWA



象嵌臙銀花器
夕映のイスタンブール

2010年制作・HD作品/カラー/39分

伝統文化シネマ新作上映会とは

当財団では、優れた無形の伝統文化の記録映画を制作し、本作品で47作品を数えます。幅広く一般の方々にご覧に頂くために「伝統文化シネマ新作上映会」を開催いたします。

Pola Foundation for the Promotion of Traditional Japanese Culture

財団法人 **ポーラ伝統文化振興財団**

〒141-0022 東京都品川区東五反田5-24-10 テラサキ第3ビル2階
TEL.03-5795-1279 / FAX.03-3280-2830 URL <http://www.polaculture.or.jp>

伝統文化シネマ新作上映会

新作 平成 23 年度優秀映像教材選奨最優秀作品賞・文部科学大臣賞受賞

「加賀象嵌 中川衛 美の世界 ー新たな伝統を創るー」 (カラー 39分)

[企画：(財)ポーラ伝統文化振興財団／製作：(株)毎日映画社／2010年制作／監督：黒崎洋一]



トルコイスタンブールで作品制作のためのスケッチをする

平成 16 年、戦後生まれで初の重要無形文化財「彫金」保持者に認定された加賀象嵌の第一人者、中川衛氏。伝統的な技法を礎に、金属を幾重にも重ねて精緻な美を生み出す‘重ね象嵌’の技術を発展させた。映画は象嵌の‘ぞ’の字も知らなかった一人の若者が、なぜ全て自ら材料や道具を作り、更に二足の草鞋で 11 年間苦心惨憺の末、人間技の極限ともいえる精緻な美を創り出すことができたのかをたどる。作品が出来上がるまでの工程を追いながら、加賀象嵌のデザインと技術に投影される氏の生き様を描く。

講演 「加賀象嵌を次世代へつなぐ ー彫金・象嵌技法についてー」

講師：中川衛氏

重要無形文化財「彫金」保持者（人間国宝）中川衛氏をお迎えし、伝統を守りつつも絶えず新たなものに挑戦し、次世代へつなぐ伝統を育む「彫金・象嵌技法」について語って頂きます。



自ら鑿(たがね)をつくる

きゅりあん(品川区立総合区民会館)案内図



●交通のご案内 JR 京浜東北線・東急大井町線・りんかい線……大井町駅 徒歩約 1 分
※駐車場は商業施設との共用のため、土・日・祝日は特に混雑します。なるべく電車・バスをご利用ください。
※会館周辺道路は狭いため、近隣にご迷惑となりますので駐車車ができません。ご注意ください。
※駐車料金 30 分 200 円 (利用時間 8:00~21:30)

日時 平成 23 年 11 月 28 日 (月)
19:00 - 20:30 (18:30 開場)

会場 きゅりあん 1F 小ホール

(品川区立総合区民会館 1F) JR 大井町駅前
東京都品川区東大井 5-18-1

入場無料

定員 先着 230 名 (お申し込み不要)

主催 財団法人 ポーラ伝統文化振興財団

<お問い合わせ先>

財団法人 ポーラ伝統文化振興財団

Tel 03-5795-1279 (10:00-18:00 / 土・日・祝日休)